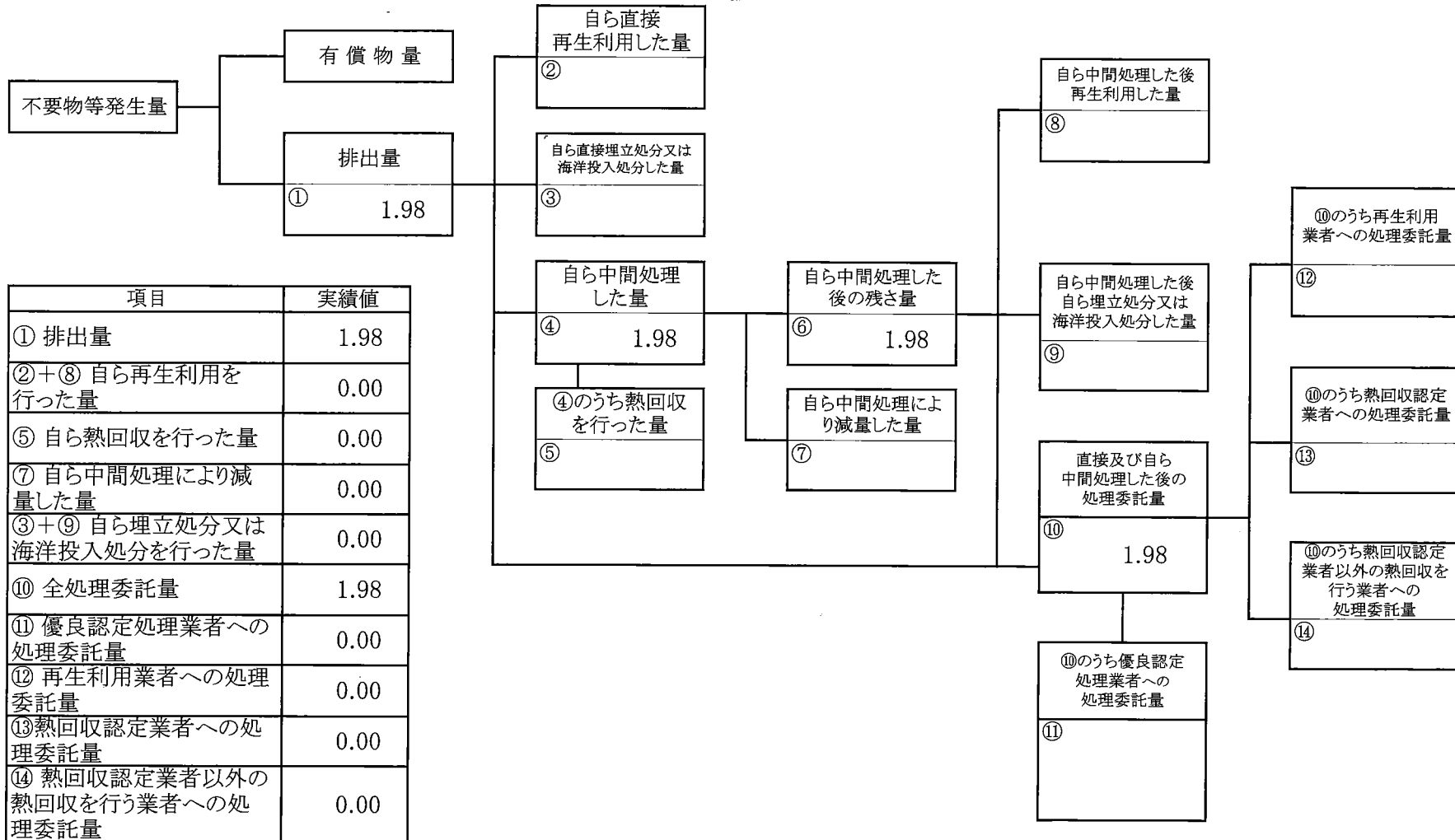


産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和 7 年 6 月 25 日			
富山市長 藤井 裕久 殿			
提出者 住 所 富山市上飯野13番6 氏 名 三豊工業株式会社 代表取締役 五十嵐 優 電話番号 076-451-6100			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6 年度の産業 廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事 業 場 の 名 称		三豊工業株式会社	
事 業 場 の 所 在 地		富山県中新川郡上市町竹鼻731-5	
事 業 の 種 類		産業廃棄物処理業、解体工事業	
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間		令和6年4月1日～令和7年3月31日	
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目		目標値	
項目		目標値	
排 出 量	980 t	全 処 理 委 託 量	260 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	720 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	270 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t
※事務処理欄			

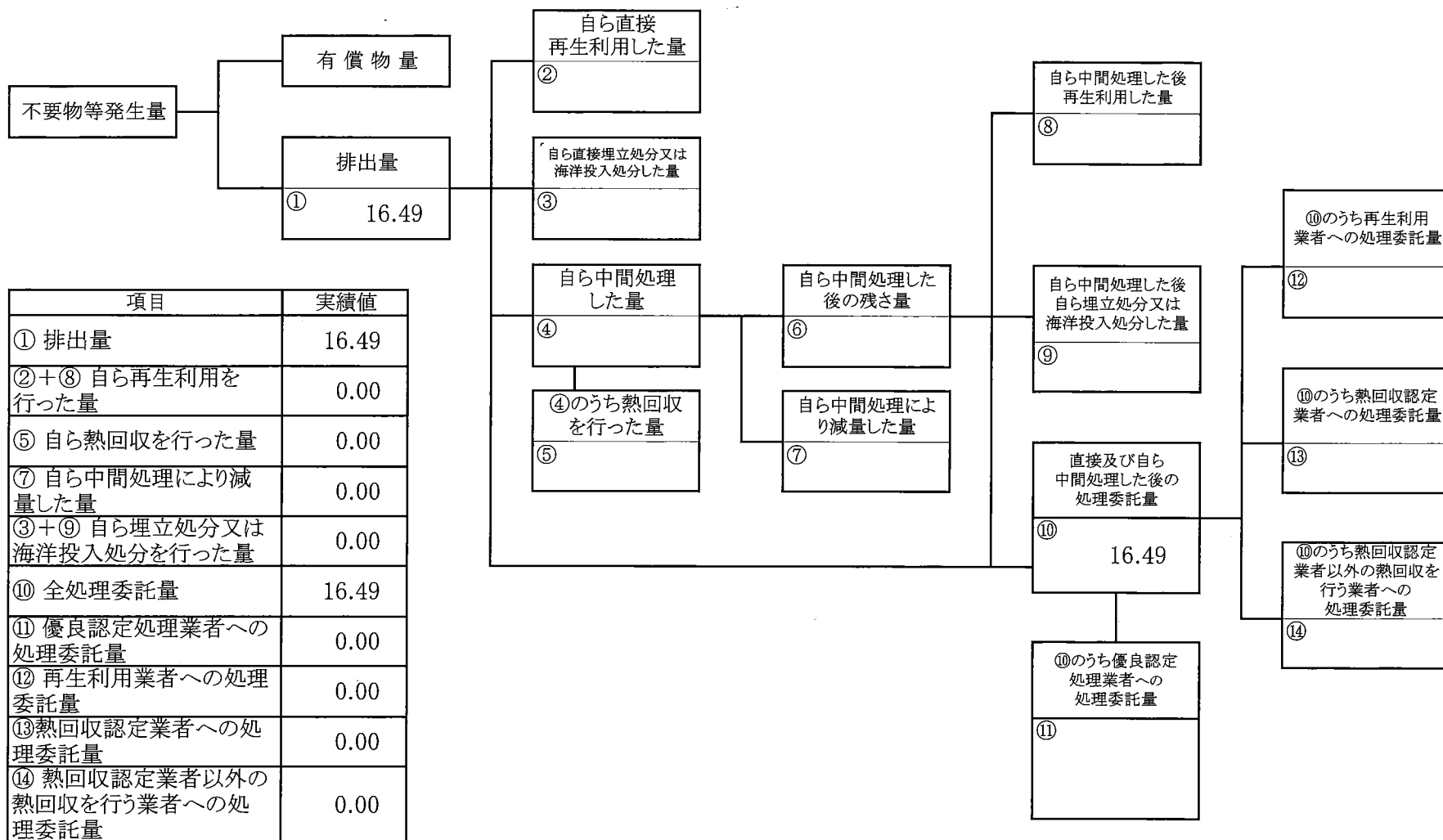
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)



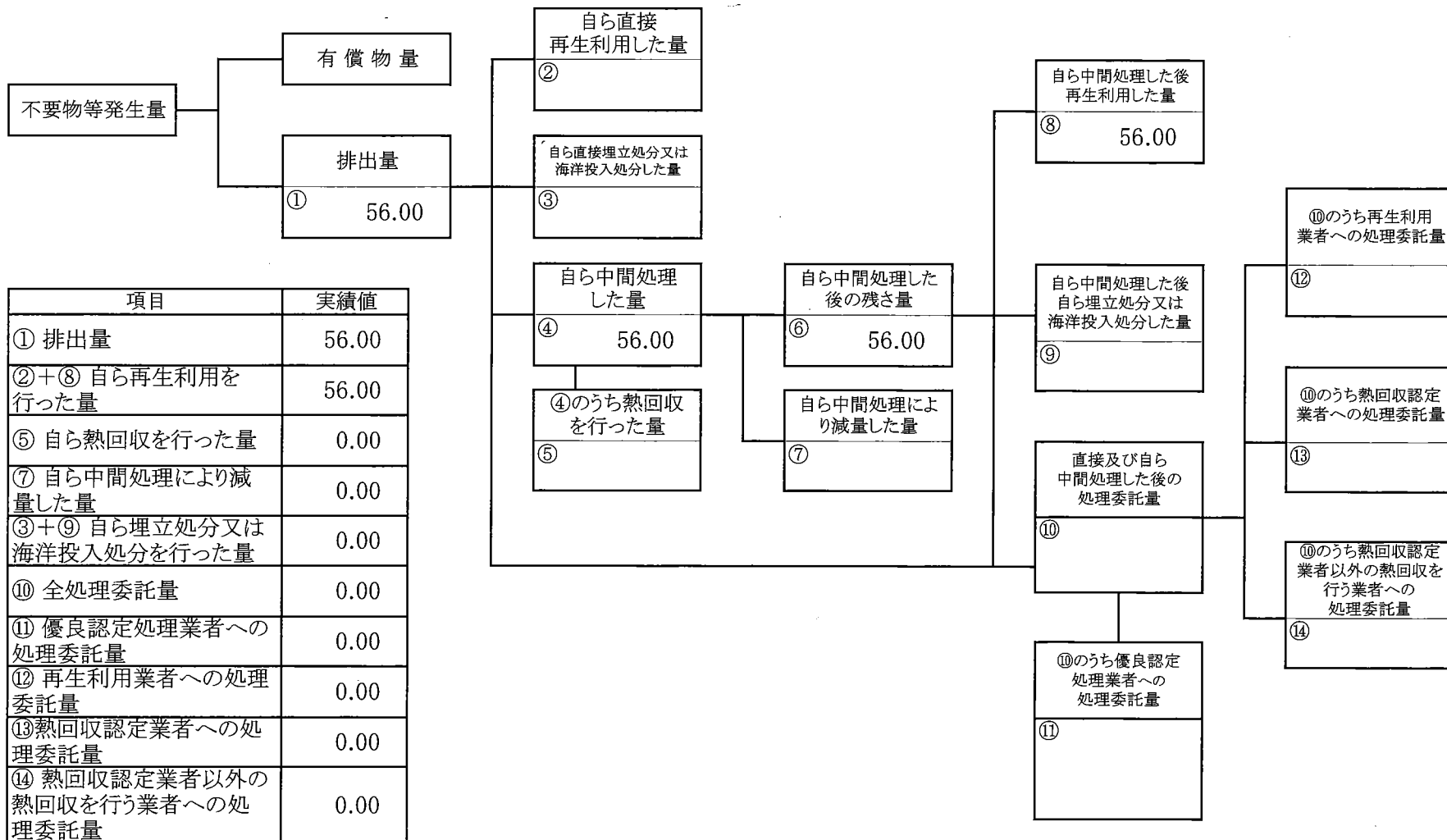
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 木くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： コンクリートくず)



(様式第2号の9)産業廃棄物処理計画実施状況報告書 第2面(一覧)

別添
単位:トン/年

廃棄物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接再 生利用した量	③自ら直接埋 立処分又は海 洋投入処分し た量	④自ら中間処 理した量	⑤自己中間処 理のうち熱回 収を行った量	⑥自ら中間処 理した後の残 さ量	⑦自ら中間処 理により減量 した量	⑧自ら中間処 理した後再生 利用した量	⑨自ら中間処 理した後自ら埋 立処分又は海 洋投入処分した 量	⑩直接及び自 ら中間処理し た後の処理委 託量	⑪⑩のうち優 良認定処理業 者への処理委 託量	⑫⑩のうち再 生利用業者へ の委託量	⑬⑩のうち熱 回収認定業者 への処理委託 量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 アル カ リ															
廃プラスチック類		2			2		2				2				
紙 く ず															
木 く ず		16									16				
繊 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不変物															
石 膏 ボ ー ド															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鋳 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
蛍 光 灯															
コンクリートくず		56			56		56								
アスファルトくず															
混合廃棄物															
石棉含有(スレート)															
計		74	0	0	58	0	58	0	0	0	18	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値 : 様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況 : 様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類 : 19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。